

カルメン公演で大好評を博した矢澤定明の最高に豪華なオーケストラ・サウンド

大阪交響楽団 名曲セレクション2019

ストラヴィンスキー 作曲

火の鳥 (1919年版)

レスピーギ 作曲

ローマの松

ムソルグスキー 作曲(ラヴェル編)

展覧会の絵



(C)飯島 隆

共演(ローマの松): 高雄中学校、田辺中学校、明洋中学校、白浜中学校、南部中学校、熊野高校、南部高校、田辺シティプラス

指揮: 矢澤 定明

2/17 (日) 開演 15:30 入場料 2000円(全席指定) 未就学児の入場はご遠慮願います。
～宝くじの助成による特別料金になっております～

紀南文化会館大ホール

託児所を開設します。締切1月30日
要予約(保育料1000円) 文化振興課まで

チケット発売所(11月9日(金)発売)

紀南文化会館、田辺市教育委員会 文化振興課(市民総合センター3F)、プレジール、上富田文化会館
龍神市民センター、本宮教育事務所、みなべ町中央公民館、中辺路コミュニティセンター、大塔総合文化会館
白浜町教育委員会、日置川拠点公民館、周参見公民館

●遠方の方はチケットの予約も行っていただきますので田辺市教育委員会、文化振興課(0739-26-9943)までお問い合わせ下さい。

主催: 田辺市、田辺市教育委員会

問い合わせ: 田辺教育委員会 文化振興課 TEL0739-26-9943 和歌山県田辺市高雄1丁目23-1

紀南文化会館 TEL 0739-25-3033

<http://www.city.tanabe.lg.jp/bunshin/event/index.html>



大阪交響楽団 名曲セレクション2019

コンダクターからのメッセージ

指揮者 矢澤 定明

コンサートのチラシを手にとって頂き有難うございます。突然ですが「オーケストラ」のコンサートにお出かけになった事はありますか？先日、子ども達に生のオーケストラを聴いてもらった時の反応、第一声は「凄い！！CDみたい！？」でした。昨年このシリーズで演奏された「ジャジャジャーン」と始まる ベートーヴェンの「運命」、名曲です。本当に盛り上がります。しかし、指揮者もオーケストラも この曲を演奏する時は笑いません。むずかしい？・・・真剣勝負です。クラシックが大好きな人はここがたまらない。しかし、クラシックに敷居が高い方は、ここがしんどい。・・・おまかせ下さい！今回はオーケストラ大好きな方も、初めての方も盛り上がるコンサートをご用意しました。まず主役のオーケストラは田辺市に10年にわたり、本物の音楽を伝え続けてくれる「大阪交響楽団」、良い音間違いなし！そして肝心の今回のテーマは「キラキラ オーケストラ！」。地元の皆様には当たり前の素晴らしい景色だと思えますが、南紀に向かう特急くろしおの右側の車窓に広がるキラキラの海！羽田発の飛行機で紀伊半島を横切り、南部で旋回した時に眼下に広がるエメラルド色に輝く海！この素晴らしい景色の色彩感を音で表すプログラムをご用意しました。

●バレエ組曲「火の鳥(1919年版)」、ロシアの作曲家、ストラヴィンスキーの3大バレエ(春の祭典、ペトルーシュカ)のひとつ、ロシアの民話に基づくバレエ音楽。序奏でのコントラバス、トロンボーンの不気味な響き、ミュートトランペットから木管楽器に受け継がれる火の鳥の目覚め、踊り。女王たちのロンドで聴く優雅なオーボエ、魔王カスチエイの踊りでは、トロンボーンのグリッサンド！優しいファゴットの子守唄でうっとりした後は、夜明けを思わせるホルンのソロに花を持たせるハーブ！感動的な終曲に貴方はもうオーケストラの虜です。

●交響詩「ローマの松」、イタリアの作曲家、レスピーギの「ローマの噴水」、「ローマの祭」と共に大人気のローマ3部作のひとつ、第1部「ボルゲーゼ荘の松」、公園で遊ぶ子供達の歓声が聞こえて来ます。第2部「カタコンバ付近の松」、古代ローマの墓から信者達の祈りに満ちた聖歌が響きます。第3部「ジャニコロの松」、満月の夜、月の光に照らされている松。ナイチンゲールの鳴き声が夜明けの「アッピア街道」へと導きます。第4部「アッピア街道の松」、古代ローマの進軍道路を進むティンパニ、コントラバス、ピアノを中心とした8分音符のリズムに、華やかな金管楽器のファンファーレが客席に鳴り響き曲を閉じます。☆何と今回は紀南地区の中学生から大人までが、プロのオーケストラと共演します。普段から夏の吹奏楽コンクール、地元の行事に積極的に参加している若い音楽家達がオーケストラと共演！これはもう見逃せません。是非とも応援に駆けつけてください。

●組曲「展覧会の絵」、ロシアの作曲家、ムソルグスキーが作曲し、オーケストラを知り尽くしたフランスの作曲家ラヴェルが編曲し、キラキラな作品に仕上がりました！輝かしいトランペットのソロで展覧会は始まり、変ホ長調の大コーラル「キエフの大門」で幕を閉じます。クラシックの世界では変ホ長調、E♭、ミの♭は神様の音を意味します。今回は3曲ともにメインの曲揃いですが、最後に演奏されるこの曲。思い思いの音の展覧会を満喫して下さい。

皆様、是非とも2月17日の日曜日、紀南文化会館にお越しください。期待は裏切りません。ここでオーケストラのファンにデビューしていただき、大阪、東京へとコンサートにお出かけになる第一歩を作ってください。

矢澤 定明(指揮)

東京藝術大学卒業。バリ留学を経てトランペット奏者および指揮者として活動を開始。指揮を佐渡裕、高階正光、三澤洋史の諸氏に師事。歌劇「カルメン」でプロ指揮者デビュー。これまでに日本フィル、東フィル、ロイヤルチェンバー、日本センチュリー響、兵庫芸文センター管、名古屋フィル、九州交響楽団、奈良フィル、新国立劇場合唱団、ひょうごプロデュースオペラ合唱団、神戸市混声合唱団、シエナ・ウインド、大阪市音、ブリッツフィル、広島ウインド等を指揮。Bunkamura20周年記念N響特別演奏会「第九」、大阪城ホール「万人の第九」の合唱指揮および副指揮を務めるほか、新国立劇場や兵庫県立芸文センターなどで数多くのオペラ公演に携わる。'12年イタリア・トリノ王立歌劇場の「カルメン」公演(佐渡裕指揮)の副指揮者を務める。東京の第一生命ホールでのオペラプロジェクトでは「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「セビリヤの理髪師」をプロデュースおよび指揮。'14年オペラ「カルメン」(神戸文化ホール)、「15年オペラ「ドン・ジョヴァンニ」(新国立劇場中劇場)、名古屋二期会創立45周年記念新作オペラ「宗春」(愛知県芸術劇場大ホール)、「16年オペラde神戸「蝶々夫人」(神戸文化ホール)、「17年オペラ「トスカ」(新国立劇場中劇場)、神戸市混声合唱団定期演奏会(神戸文化ホール中ホール)、オペラ「カルメン」(紀南文化会館大ホール)等を指揮。'18年10月にはサントリーホールでの「銀河鉄道999シンフォニックコンサート」で東フィルを指揮する。その手腕と実績は高く評価されており海外の音楽家や音楽団体からの信頼も厚い。全国各地でも丁寧で愛情溢れる指導で多くの文化事業を成功に導いている。

現在、愛知県立芸術大学非常勤講師として後進の指導にも力を注いでおり、愛知県芸大オペラ公演および愛知県芸大ウインドオーケストラの定期演奏会の指揮でも高い評価を得ている。 矢澤定明HP <http://sadaaki-yazawa.com/>

大阪交響楽団

1980年創立。初代音楽監督・常任指揮者に小泉ひろしを迎える。永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くもの、演奏するものも満足できる音楽を』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。1992年1月にトーマス・ザンデルリンクを音楽監督・常任指揮者に迎え、オーケストラとしての基礎を築いた。その後曾我大介を音楽監督・常任指揮者に、さらに大山平一郎がミュージックアドバイザー・首席指揮者に、そして2008年4月からは児玉宏が音楽監督・首席指揮者に就任、その活動ぶりと演奏は各方面から高い評価を得た。楽団名を「大阪シンフォニカー」から2001年1月に「大阪シンフォニカー交響楽団」、さらに2010年4月に「大阪交響楽団」と改称。また支援組織として、1988年大阪シンフォニカー協会が設立、2008年12月に一般財団法人となる。さらに2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となった。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。2006年4月、大和ハウス工業株式会社代表取締役会長樋口武男氏が運営理事長に就任している。2015年4月には二宮光由が楽団長・インテントに就任。さらに2016年4月からは、日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーに就任、2004年1月から正指揮者として、また2011年4月からは常任指揮者に就任した寺岡清高氏(2000年ミロブローロス国際指揮者コンクール優勝)の両指揮者陣のもと、さらなる楽団の飛躍が期待されている。 楽団公式ホームページ(<http://.sym.jp>)

遠方の方はチケットの郵送も行っておりますので田辺市教育委員会、文化振興課(0739-26-9943)までお問い合わせ下さい。